

医療保健学部 こども保健学科

受 験 番 号								名	前

2 0 0 9 年 度 公 募 推 薦 入 学 試 験 S 日 程

小 論 文 (60分 100点)

[注 意 事 項]

- 1 . 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 . 問題冊子(解答欄を含む)は3ページです。監督者の指示に従って確認して下さい。
- 3 . 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁などに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせて下さい。
- 4 . 受験番号及び名前は所定欄に正確に記入して下さい。
- 5 . この冊子は、監督者の指示により提出して下さい。

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

子どもの優れた学習能力

新しいことができるようになったり、前よりうまくなったりという変化は、学習心理学が扱ってきたテーマです。その学習心理学では、訓練して成功したら賞(餌)を与え、失敗したら罰を与える学習のメカニズムが長らく研究されてきました。いわゆるアメとムチの教育です。

動物に新しい芸を仕込むには、このアメとムチの訓練しか方策がありません。ところが人間はそうではありません。自分から新しい行動を習得します。他人が何をしているか、その結果どのようなことが起こるかといったことを観察して、その行動を自分のものにしてしまう、すなわち「観察学習」ができるのです。しかも、人がやっているのをみながら同時にそのとおりに行う、いわゆる「サルまね」とは違い、いつのまにか観察していたことを後で適切な場面でやってのけます。「遅延模倣」といわれるものです。また何度もみる必要はなく、一度で我がものにしてしまう効率的な方法なのです。

この観察学習は、人間以外ではチンパンジーが少々できる程度で、他の動物ではできないことです。一方、人間の場合は、ごく幼い子どもでさえも簡単にやっています。たとえば、ママゴトで父親役になると、食卓で新聞を広げながら食事をしたり、母親役の女の子が鏡の前でパタパタと化粧するなど、観察して学習する遅延模倣の例は少なくありません。

他者の行動を模倣することは、生後二～三週の赤ちゃんでもできるのです。赤ちゃんの前でおとなが舌を出したり、唇を突き出したり、眉を動かしたり、手を動かしたりして、それをみせると、赤ちゃんは自分の口をモゴモゴさせたり、顔や手を動かすなどして、やがておとなの行動と同じことをします。模倣するだけではありません。逆に赤ちゃんのすることをまねる人をじっと見つめ微笑むのです。赤ちゃんは「自分がまねられている」ことがわかっているのです。

まだ鏡もみたことのない、身体さえ自由に動かせない赤ちゃんが、なぜこのような模倣ができるのか、あるいは、模倣されていることを知っているのか、とても不思議です。このメカニズムは、現在も研究が進められていますが、赤ちゃんが人的刺激に対して強い関心をもっていることや、人と関わることに積極的な姿勢をもっていることなどが重要な基盤であることが確かめられています。

赤ちゃんは鋭敏な視覚と聴覚を駆使して外界を探索しますが、特に人的刺激が大好きで、他のものよりもずっと長く知覚しつづけます。人の顔と声を正確に聞き分けます。それだけではありません。そばにいる人の動向にもとても敏感で、その人のすることに同調的な反応をします。その人が見ているものに自分の視線を走らせたり、その人が指さすとその先をみたりします(「共同注視」といいます)。ごく幼いうちから他者への関心と、自分を他者に関わらせて共同的にふるまう傾向が強く、そして誰かと一緒にいることが好きです。このような他者への関心、他者と共同的でいたいという気持ちが、模倣や観察学習など社会的な学習の基盤なのです。子どもは「孤独な学習者」ではなく、人と共に人から学ぶ「社会的学習者」なのです。

出典:『子どもが育つ条件 一 家族心理学から考える』 柏木恵子 岩波新書

問) 子どもの育ちを援助する場合、このような学習者である子どもたちとどのように関わる必要があると考えますか。600字以内で述べなさい。

[illegible]

[illegible]